

## セックス・ジェンダー・セクシュアリティ用語リスト

### 概要

この資料は英米文学演習Ⅲの個人プロジェクトとして、セックス・ジェンダー・セクシュアリティの基本的な知識を提供するものである。この資料作成の目的は、数多く存在するジェンダーやセクシュアリティを表す用語の違いや類似性を明確にし、ジェンダーやセクシュアリティの多様性を学ぼうとする者の理解を手助けすることにある。

この資料作成にあたって、LGBT の当事者団体の集会にて、参加者にも様々な意見を伺うことができた。その中でよく聞かれたのは「自身のジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティをひとつの言葉で表すのは不可能・あるいはひとつに決めてしまいたくない」という意見である。この資料の中では、その目的ゆえに、用語が表すジェンダー・セクシュアリティのあり方について、他の用語との違いを可能な限り明確に説明している。しかしながら、この資料を使用する上で留意すべきなのは、これらの用語はあくまでも整理された概念であって、当事者一人一人をこの用語のいずれかが示す枠の中に押し込めて理解すべきではないということだ。ジェンダーやセクシュアリティというのは、しばしば境界線の曖昧なスペクトラムで表現されるように、実に多様なものである。したがって、この資料はそのような混沌としたジェンダーやセクシュアリティを、理解のために便宜的に明確な線引きを用いながら説明するものだと言える。

またこの資料が当事者理解や学習・研究のために活用されるだけでなく、すべての人が自身のジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティを見つめ直すためのきっかけとなれば嬉しい。LGBT 当事者からも「何らかの用語があることで、自身のアイデンティティを見出すきっかけになったり、『自分だけではない』という自信が持てることがある」という声が聞かれた。性についての悩みを持つことは誰しも経験する可能性があるし、自身はまったく関係がないと思っていた人が、ひょっとするとこの資料の中に、自分にとって身近に感じる用語を見つける場合もあるだろう。セックス・ジェンダー・セクシュアリティに関する様々な概念があることを知ることで、性の多様性への理解が深まり、誰しもが当事者意識を持つようになることを期待する。

2019年2月

佐々木 杏菜

この資料では、用語を大分類（I，II，III，…）と小分類（1, 2, 3, …）に区分している。小分類に属する用語は、大分類のうちいずれかひとつに当てはまるものもあれば、複数にまたがった内容を示すものも存在する。そのため、一般的に「性別」という言葉で一括りに説明されることが多い身体的性別（セックス）、社会的性別（ジェンダー）、性自認（ジェンダー・アイデンティティ）、ジェンダー表現を明確に区別した。また、セクシュアリティは身体的性別や性自認によらないことから、これらもまた資料に必要な分類として表記することとした。

小分類の用語には関連する大分類の用語を示すラベルを付している。用語の意味や使用方法が個人や文化圏によって異なるものは、最も広く使われている意味から順に、なるべく多くの例を列挙する。俗称などに非正式な用語は枠内に列挙するに留め、差別的な意味合いの強いものはその旨も記載する。差別用語でなくとも、人によって嫌う場合もあるので俗称の使用には注意が必要。

## 大分類

### I. 身体的性別（セックス, Sex）

英語の sex は身体的な性別と性行為のふたつの意味を持つ。ここでは前者の意味について解説する。身体的性別とは性染色体、性腺、性ホルモン、性器などによる身体上の男女の区別を指す。sex の語源はラテン語の *secare*（「分ける」という意味）に由来する。（針間 16）1968 年に精神病理学者のロバート・ストーラーが「性」と「ジェンダー」つまり身体的性別と社会的・心理的性別を区別するべきだとしたことから、この考え方が広まった。

### II. 社会的性別（ジェンダー, Gender）

身体的な性別に対して、社会的・文化的に形成された男らしさ・女らしさの区別を表す。もともとは言語学的な性の別や、生物学的な性別など、sex より広い意味での性別を示す語であり、ラテン語の *genus*（「種類」という意味）に由来する。1968 年に精神病理学者のロバート・ストーラーが「性」と「ジェンダー」つまり身体的性別と社会的性別を区別するべきだとしたことから、この考え方が広まった。

### III. 性自認（ジェンダー・アイデンティティ, Gender Identity）

自身の性別に対する認識のこと。性自認は必ずしも身体的性別と一致するとは限らない。また、男女の二分法によらない性自認を自覚している人も存在する。身体的

性別と性自認が一致しないのは異常なことではない。性自認は社会的あるいは経済的な利得によって意図的に決定できるものではない。

#### IV. ジェンダー表現 (Gender Expression)

言葉遣いや態度、あるいは服装や化粧など外見的な特徴によって、男らしさや女らしさ、あるいは中性的なジェンダーを表現すること。性表現 (Sexual Expression) という言い方をされることもあるが、ジェンダーの意味に基づいて考えれば、ジェンダー表現という言い方が適切であろう。

#### V. セクシュアリティ (Sexuality)

セクシュアリティ sexuality という英語は性別や性欲、性行動など性に関することを指すが、ここでは性的指向や恋愛指向、その他の魅力に惹かれる傾向を総称してセクシュアリティ (sexuality) という。

#### 小分類

##### 1. インターセックス (Intersex, 半陰陽) 身体的性別 社会的性別 性自認

北米インターセックス協会 (Intersex Society of North America: ISNA) によれば、生殖機能や性器の状態が典型的な男女の定義に当てはまらない特徴を持った状態を指す。医学的には「性分化疾患」(Disorders of Sex Development; DSD) という用語が当てはまる。インターセックスの人を「インターセクシュアル」(Intersexual; IS, 半陰陽者)と呼ぶ。約 2000 人に 1 人の割合で、外性器が性別を見分けにくい新生児が誕生するが、外見的な特徴からは IS であることがわからないこともある。IS の新生児は多くの場合、外見を外科手術によって男女のどちらかの典型的な特徴に近づけるが、その際に性別を選ぶのは医師や両親である。よって成長後に身体と性自認の不一致に悩む場合もある。そのため支援団体は本人の同意なしの外科手術に反対を呼び掛けている。

類義語： 間性, 両性具有, ふたなり, アンドロジニー (Androgyny), アンドロギュノスまたはアンドロジナス (Androgynous), アンドロジン (Androgyne), ヘルマプロディトス (Hermaphroditus), ハーマフロダイト/ヘルマフロディーテ (Hermaphrodite).

##### 2. シスジェンダー (Cisgender) 身体的性別 性自認

身体的性別と性自認が一致している人のこと。2011年までに登場した言葉で、cis-とはtrans-の反対の意味の接頭辞で、もともとは「こちら側の」という意味。対義語はトランスジェンダー。トランスジェンダーを差別しないために使われ始めた用語。あくまで身体的性別と性自認に関する用語であり、セクシュアリティとは無関係である。

3. トランスジェンダー(Transgender) 身体的性別 社会的性別 性自認

[1] 身体的性別と性自認が一致していない人のこと。「トランスジェンダー」がこの意味で用いられるようになったのは1970年代以降。医学的には「性同一性障害」(Gender Identity Disorder; GID)や「性別違和」(Gender Dysphoria; GD)という呼称が用いられる。直訳すると「性を超越する人」という意味。あくまで身体的性別と性自認に関する用語であり、セクシュアリティとは無関係である。

[2] トランスセクシュアルや異性装者などを含めた、社会の性規範に当てはまらない(とらわれない)外見や振る舞いをする人たちの総称。

[3] 医学的治療を望まないGDの当事者。

4. トランスセクシュアル(Transsexual) 身体的性別 性自認

[1] 身体的性別と性自認が一致していない人のこと。この場合はトランスジェンダー[1]と同義語だが、トランスセクシュアルの方が古い言い方で、この呼称を好まない人もいる。

[2] GDの当事者で、身体的性別を性自認と一致させるために医学的治療を望む人のこと。

5. トランス男性/トランス女性(Trans man/Trans woman) 身体的性別 社会的性別 性自認 ジェンダー表現

トランス男性は出生時に女性と決められたが、現在は男性として生活している人。トランス女性は出生時に男性と決められたが、現在は女性として生活している人。ホルモン治療や性別適合手術を行っているかは問わない。

類義語: FtM(Female to Male, 女性から男性へ), MtF(Male to Female, 男性から女性へ)。\*かつての性別を強調するという理由でこれらの用語を使わない人もいる。

6. トランスマスキュリン/トランスフェミニン(Transmasculine/Transfeminine)

身体的性別 ジェンダー表現

トランスマスキュリンは出生時に女性と決められ、男性的なジェンダー表現をして生活している人。トランスフェミニンは出生時に男性と決められ、女性的なジェンダー表現をして生活している人。性自認は人によってさまざまで、必ずしもトランスジェンダーであるとは限らない。

7. ノンバイナリー(Non-binary) 性自認

「男か女か」という男女二元論にとらわれない性自認を持つ人の総称。人によって性自認はさまざまで、男女の両方が入り混じっていると感じる人や、男女のどちらでもない性を自認する人もいる。また同じ呼称を用いる人の間でも、ジェンダーに対する感じ方の程度は異なり、人の数だけ性のあり方があるといえよう。それを示すように、ノンバイナリーに含まれる用語は多く存在し、定義が重なるものも多い。当事者が自身のジェンダーをどのように捉えているかによって自称するジェンダーの名称は異なる。

8. アポラジェンダー(Aporagender) 性自認

男性でも女性でもその中間でもないジェンダーの総称。男でも女でもないという感覚はアジェンダーと似ているが、このジェンダーを持つ人は男女のどちらにも当てはまらないが自分にジェンダーが存在していると感じる。

9. マーベリック(Maverique) 性自認

男性・女性という二元論的なジェンダーとは異なる独自のジェンダーを有している人のこと。アポラジェンダーとの違いは、総称ではなくジェンダーの一種であるという点。英語の形容詞 maverick（「独自の路線に行く」という意味）が語源であると考えられる。

10. アジェンダー(Agender)またはジェンダーレス(Genderless) 性自認

「ジェンダーがない」という意味で、ジェンダーがないと感じる人や、ジェンダーが男女の中間に存在すると感じる人、あるいはジェンダーという概念そのものを否定する人のこと。アポラジェンダーやインタージェンダーとの違いは、アジ

エンダーまたはジェンダーレスを名乗る人はジェンダーそのものが存在しないという感覚が強い場合が多い。

11. ニュートロワ (Neutrois) 性自認

ジェンダーが中立か、あるいは存在しない人。フランス語の *neutre* (「中間」) と *trois* (「3」、第三の性の意味) から成る語で、1995 年に H. A. バーンハムが自称したのが始まりとされる。

12. インタージェンダー (Intergender) 性自認

ジェンダーが男女の間にあるか、もしくは混ざり合っているような状態の人。アポラジェンダーとの違いは、インタージェンダーの人は自身のジェンダーを男女二元論上のどこかで説明できると感じているということ。アジェンダーとの違いは、インタージェンダーの人はジェンダーがあると感じていること。

類義語：ジェンダー・ニュートラル (Gender Neutral), X ジェンダー (X Gender)

13. アンドロジン (Androgyne) または アンドロジナス・ジェンダー (Androgynous Gender) 性自認

男女の両方あるいは中間に位置する、もしくは男女のどちらでもないジェンダー。ジェンダーについて述べる場合は、インターセックスを示す語とは区別される。インタージェンダーよりも、「男女両方の性質を併せ持つ」という感覚が強い場合に用いられることが多い。

14. ポリジェンダー (Poligender) または マルチジェンダー (Multigender) 性自認

複数のジェンダーを有していると感じる人のこと。二つのジェンダー (男と女とは限らない) を感じる人をバイジェンダー (Bigender)、三つのジェンダーを感じる人をトライジェンダー (Trigender) という。複数のジェンダーを同時に感じる人もいれば、その時によって変わる人もいる。ジェンダー・フラックスやジェンダー・フルイドを経験する場合がある。

15. パンジェンダー (Pangender) または オムニジェンダー (Omnigender) 性自認

あらゆるジェンダーを有していると感じる人のこと。ポリジェンダーが特定のジェンダーを有するのに対して、パンジェンダーは全てのジェンダーを有している。

ジェンダー・フラックスやジェンダー・フルイドを経験する場合がある。

16. クエスチョニング(Questioning) 性自認 セクシュアリティ

自身のジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティについて迷っている人のこと。

類義語：第三のジェンダー(Third gender), ジェンダークィア (Genderqueer)

17. Xジェンダー (X Gender) 性自認

男でも女でもない性自認を持つ人。日本独自の呼称で広く使われている言葉。Xジェンダーを自称する人の中には、男女両方のジェンダーを併せ持つと感じる人や、男女の中間に位置していると感じる人 (インタージェンダー)、男女どちらにも属さないと感じる人がいる。

類義語：MtX(Male to X), FtX(Female to X)

18. ジェンダーフルイド(Genderfluid) 性自認

流動的なジェンダーのこと。またはそのようなジェンダーを持つ人のこと。ポリジェンダー、パンジェンダー、クエスチョニングの人はジェンダーフルイドを経験することがある。遅くとも 1990 年代に使われ始めた言葉で、2000 年代には当事者の間では一般的な用語となった。

19. ジェンダーフラックス(Genderflux) 性自認

ジェンダーの経験が激しく揺れ動く人。ジェンダーフルイドの一部と考えられることもあるが、より不安定で、感じ方の程度の差が大きい場合にジェンダーフラックスという語を用いる。ポリジェンダー、パンジェンダー、クエスチョニングの人はジェンダーフラックスを経験することがある。

20. トランスヴェスタイト(Transvestite; TV)またはクロスドレッサー(Crossdresser, 異性装者) ジェンダー表現

異性装をする人々を表す語。トランスヴェスタイトという言葉は、1910 年に初めて用いられたが、当時は同性愛と混同されて論じられるなど、専門家の間でも誤った理解が流布していた。異性装はジェンダー表現であり、セクシュアリティやジェンダー・アイデンティティを規定するものではない。またトランスヴェス

タイトという用語が病理と結びつけられることを嫌った人々によって、異性装者を指してクロスドレッサーという言葉が使われるようになった。

21. ドラァグ・クイーン(Drag Queen)/ドラァグ・キング(Drag King) ジェンダー

表現

女装をしてパフォーマンスをする男性をドラァグ・クイーン、男装をしてパフォーマンスをする女性をドラァグ・キングという。異性装の一種だが、過度に性を強調させた派手なメイクや衣装が特徴。語源的にはドラァグ・クイーンの方が古い言葉であり、英語圏では drag が女装男性を意味する。

22. アンドロジナス(Androgynous) ジェンダー表現

典型的な男性らしさや女性らしさの両方を併せ持つような特徴のジェンダー表現のこと。インターセックスを表す語とは区別される。現在では、男らしくも女らしくもないという意味合いでも使われるようになった。アンドロジナスなジェンダーのことをアンドロジン (Androgyne) あるいはアンドロジナス・ジェンダー(Androgynous Gender)という。

23. ジェンダー・ノンコンフォーミング/ジェンダー・ダイバース/ジェンダー・ヴァリエント/ジェンダー・エクспанシブ (Gender nonconforming/Gender diverse/Gender variant/Gender expansive) 性自認 ジェンダー表現

従来の性別規範に基づかないジェンダー・アイデンティティやジェンダー表現を有する人たちの総称。シスジェンダーについても用いることができる用語で、程度の差を問わず、男女の二元論に縛られないあらゆる行動様式、態度、外見などを指す。

24. グレージェンダー(Graygender) 性自認 ジェンダー表現

ジェンダー・アイデンティティやジェンダー表現に対して、ほとんど無関心な人やそのようなアイデンティティ。ジェンダーがあることは自覚していても、定義づけしがたい場合や、思い入れがない場合を指す。

類義語：ジェンダー無関心(Gender indifferent)

25. セクシュアル・オリエンテーション(Sexual orientation, 性的指向) セクシュア

リテイ

セックスやジェンダー・アイデンティティに基づいて、性的にどのような相手に惹かれるかという傾向のこと。ロマンティック・オリエンテーション(Romantic orientation; 恋愛指向)との違いは、性的(肉体的)なものと感情的(精神的)なものと説明できるが、実際には身体に触れることやキスをするのが肉体的・あるいは性的な好意に含まれるかは個人の価値観により異なる。すなわち、この資料では性的指向と恋愛指向を分けて解説しているが、この二つは人によっては連続的なスペクトラムとして捉えることが可能である。性的指向と恋愛指向は一致しないこともある。

26. ロマンティック・オリエンテーション(Romantic orientation, 恋愛指向) セクシ  
ュアリティ

セックスやジェンダー・アイデンティティに基づいて感情的にどのような相手に惹かれるかという傾向のこと。セクシュアル・オリエンテーション(Sexual orientation; 性的指向)との違いは、性的(肉体的)なものと感情的(精神的)なものと説明できるが、実際には身体に触れることやキスをするのが肉体的・あるいは性的な好意に含まれるかは個人の価値観により異なる。すなわち、この資料では性的指向と恋愛指向を分けて解説しているが、この二つは人によっては連続的なスペクトラムとして捉えることが可能である。また、感情的に惹かれる場合にもさまざまなパターンがあり、恋愛の定義も個人によって異なる。性的指向と恋愛指向は一致しないこともある。

27. モノアモリー(Monoamory, 単数愛) セクシュアリティ

一度に愛する対象が一人である、またはそのような関係を望むこと。一夫一婦制の結婚制度を採る社会や文化の中ではモノアモリーが前提となっているといえる。身体的性別やジェンダーと同様に、モノアモリーとポリアモリー(Polyamory; 複数愛、多重愛)もスペクトラムで捉えることがあり、時と場合によってモノアモリーにもポリアモリーにもなるという人も存在する。

28. ポリアモリー(Polyamory, 複数愛, 多重愛) セクシュアリティ

一度に愛する対象が複数いる、またはそのような関係を望むこと。一夫多妻制の結婚制度など、ポリアモリーを前提とした社会や文化も存在する。ポリアモリーの関係にある者同士には互いに了承・同意があることで関係が成立している。身

体的性別やジェンダーと同様に、モノアモリー (Monoamory; 単数愛) とポリアモリーもスペクトラムで捉えることがあり、時と場合によってモノアモリーにもポリアモリーにもなるという人も存在する。

29. モノセクシュアル/モノロマンティック (Monosexual/Monoromantic) セクシュアリティ

ひとつのジェンダーにのみ性的あるいは感情的に惹かれる人。

30. ポリセクシュアル/ポリロマンティック (Polisexual/Poliromantic) セクシュアリティ

同時に複数のジェンダーに性的あるいは感情的に惹かれる人。バイセクシュアル/バイロマンティック (Bisexual/Biromantic; 両性愛) もこれに当てはまる。三つのジェンダーに惹かれる場合を特にトライセクシュアル/トライロマンティック (Trisexual/Triromantic) という。

31. ヘテロセクシュアル/ヘテロロマンティック (Heterosexual/Heteroromantic, 異性愛) 性自認 セクシュアリティ

異性に対して性的あるいは感情的に惹かれる人。ドイツの Kraft-Ebing が 1886 年に出版した *Psychopathia Sexualis* で最初に言及され、1892 年の英訳版で初めて英語で heterosexual という言葉が使われた。一般に広く知られるようになったのは 1960 年代以降。ここでいう「異性」とは「反対の性」という意味で、男女二元論に基づいた表現である。そのため、通常は「男性に惹かれる女性」「女性に惹かれる男性」という意味に限定されて使われる。

類義語：ストレート (Straight), ノンケ

32. ホモセクシュアル/ロマンティック (Homosexual/Homoromantic, 同性愛) 性自認 セクシュアリティ

同性に対して性的あるいは感情的に惹かれる人。ドイツの Kraft-Ebing が 1886 年に出版した *Psychopathia Sexualis* で heterosexual と対比され、1892 年の英訳版で初めて英語で homosexual という言葉が使われた。homo- はギリシャ語の *homos* (「同一の」) に由来する。ヘテロセクシュアルの前提となっているのは男女二元論であるのに対して、ホモセクシュアルは自身と同じかそれに近いジェン

ダーへ惹かれることを意味するため、より広いジェンダーを想定している。「ホモ」という呼称は差別的な意味合いを含むため使用すべきではない。

33. ゲイ(Gay, 男性同性愛) 性自認 セクシュアリティ

男性に性的あるいは感情的に惹かれる男性ないし男性的な人。英語圏では男女の別に関わらず同性愛者全般を指すこともある。そのため、現在日本で用いられている「男性の同性愛」という訳語は必ずしも適当ではない。1950年代ごろから使われ始めた用語。「ホモ」という呼称は差別的な意味合いを含むため使用すべきではない。

34. レズビアン(Lesbian, 女性同性愛) 性自認 セクシュアリティ

女性に性的あるいは感情的に惹かれる女性ないし女性的な人。語源はギリシャの女性詩人サッフォー（詩の内容からそう性愛者ではないかと言われた）の住んでいた島の名前レスボスから。女性の同性愛という意味でこの言葉が最初に使われたのは1925年とされる。「レズ」という呼称は差別的な意味合いを含むため使用すべきでない。

35. バイセクシュアル/バイロマンティック(Bisexual/Biromantic, 両性愛) セクシ  
ュアリティ

二つのジェンダー、あるいは二つ以上の複数のジェンダーに性的あるいは感情的に惹かれる人。後者の定義はポリセクシュアル/ポリロマンティックと重なる。男女二元論に限らないジェンダーを想定しているため、日本語の「両性愛」という訳語は必ずしも適当ではない。パンセクシュアル/パンロマンティックと近い意味で使う人もいるが、バイセクシュアル/バイロマンティックは必ずしもすべてのジェンダーに惹かれるわけではない。

36. アンドロセクシュアル/アンドロロマンティック(Androsexual/Androromantic)  
またはマセクシュアル/マロマンティック(Masexual/Maromantic) セクシ  
ュア  
リティ

男性的な要素に性的あるいは感情的に惹かれる人。ノンバイナリーのために作られた用語で、ゲイやホモセクシュアルに当てはまらないと感じる場合にこの用語が使われることがある。

37. ガイネセクシュアル/ガイネロマンティック (Gynesexual/Gyneromantic) または  
ウーマセクシュアル/ウーマロマンティック (Womasexual/Womaromantic) セ  
クシュアリティ  
女性的な要素に性的あるいは感情的に惹かれる人。ノンバイナリーのために作られた用語で、レズビアンやホモセクシュアルに当てはまらなれないと感じる場合にこの用語が使われることがある。
38. アンドロジンセクシュアル/アンドロジンロマンティック  
(Androgynesexual/Androgynromantic) セクシュアリティ  
アンドロジンに性的あるいは感情的に惹かれる人。男性的な要素と女性的な要素の両方を併せ持つ場合に惹かれるという点で、バイセクシュアル/バイロマンティックと異なるが、アンドロジンに惹かれるバイセクシュアルも実際には存在する。
39. ノマセクシュアル/ノマロマンティック (Nomasexual/Nomaromantic) セクシ  
ュアリティ  
男性以外のジェンダーに性的あるいは感情的に惹かれる人。
40. ノウマセクシュアル/ノウマロマンティック (Nowomasexual/Nowomaromantic)  
セクシュアリティ  
女性以外のジェンダーに性的あるいは感情的に惹かれる人。
41. スコリオセクシュアル/スコリオロマンティック (Skoliosexual/Skolioromantic)  
または セテロセクシュアル / セテロロマンティック  
(Ceterosexual/Ceteroromantic) セクシュアリティ  
ノンバイナリーに性的あるいは感情的に惹かれる人。Skolio-とはギリシャ語で *skoliós* (「ねじれた、曲がった」) からきている。このニュアンスを好まない人は *cetero-* (ラテン語の *cetera* 「他の」が由来) を用いる。
42. ノボセクシュアル/ノボロマンティック (Novosexual/Novoromantic) 性自認  
セクシュアリティ

性自認の状態に基づいて惹かれるジェンダーが変化するような性的指向あるいは恋愛指向。ジェンダーフルイドかつアブロセクシュアル/アブロロマンティックで、性自認と性的指向/恋愛指向が連動する場合に当てはまる。

43. パンセクシュアル/パンロマンティック (Pansexual/Panromantic, 汎性愛) セク

シュアリテイ

あらゆるジェンダーに性的あるいは感情的に惹かれる人。

44. クワセクシュアル/クワロマンティック (Quoixsexual/Quoixromantic) セクシユ

アリテイ

自分が惹かれる対象がわからない人や、自分が性的・感情的に誰かに魅力を感じるのかわからないという人。クワセクシュアル/クワロマンティックの人は、自分がアセクシュアル/アロマンティックかもしれないと感じる場合がある。

45. アブロセクシュアル/アブロロマンティック (Abrosexual/Abroromantic) セク

シュアリテイ

流動的な性的指向・恋愛指向を持つ人。ノボセクシュアル/ノボロマンティックとの違いは、アブロセクシュアル/アブロロマンティックの指向の流動は、性自認とは無関係であるということ。

46. アセクシュアル/アロマンティック (Asexual/Aromantic, 非性愛) セクシユア

リテイ

誰にも性的あるいは感情的に惹かれない人。わずかに相手に魅力を感じるという場合も含むが、程度の違いによってグレーセクシュアル/ロマンティックという言葉を使うこともある。

類義語：ノンセクシュアル (Nonsexual, 無性愛)

47. グレーセクシュアル/グレーロマンティック (Graysexual/Grayromantic) セク

シュアリテイ

性的あるいは感情的に人に惹かれる度合いが小さい人。性的なことや恋愛に対する関心が薄い人のことを指す場合もある。

48. デミセクシュアル/ロマンティック (Demisexual/Demiromantic) セクシュア  
リティ  
強い結びつきを感じた相手にのみ、性的あるいは感情的に惹かれる人。Demi-は half, partial(「半分」「一部」)という意味。グレーセクシュアル/グレーロマンティックの一種とする場合もある。
49. ゼットセクシュアル/ゼットロマンティック (Zedsexual/Zedromantic) セクシ  
ュアリティ  
アセクシュアル/アロマンティックの対極に位置する概念で、性的あるいは感情的に誰かに惹かれる人。  
類義語：アロセクシュアル(Allosexual), アロロマンティック(Alloromantic)
50. エースフラックス(Aceflux)またはアロフラックス(Aroflux) セクシュア  
リティ  
性的あるいは感情的に惹かれる気持ちの程度が揺れ動く人のこと。
51. リスセクシュアル/リスロマンティック (Lithsexual/Lithromantic) セクシュア  
リティ  
性的あるいは感情的に惹かれることはあるが、相手から同様の欲求や感情を向けられたいと思わない人。  
類義語：アコイロマンティック (Akoioromantic), アプロマンティック (apromanthic)
52. レシップセクシュアル/レシップロマンティック (Recipsexual/Recipromantic) セクシュア  
リティ  
相手から欲求や感情を向けられた場合に限って、性的あるいは感情的に惹かれる人。
53. オートセクシュアル/オートロマンティック (Autosexual/Autoromantic) セク  
シュアリティ

自分自身に対して性的あるいは感情的に惹かれる人。性的指向でいえば、セックスは望まないがマスターベーションをしたいという欲求がある人。

54. イクラセクシュアル(Iculussexual) セクシュアリティ  
感情的には惹かれない（アロマンティックである）が、性的な欲求がある人。
55. トライセクシュアル/ロマンティック(Trysexual/Tryromantic) セクシュアリティ  
イ  
未知の経験や新しい試みに対して積極的な性的指向/恋愛指向。
56. バイクュリアス(Bicurious) セクシュアリティ  
複数のジェンダーに対して性的あるいは感情的に惹かれ、また強く興味を持っている人。セクシュアリティそのものを表すこともあるが、性や恋愛に対する積極的な姿勢を強調する意味合いが強い。
57. LGBTIQA+ 性自認 セクシュアリティ  
Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Intersex, Questioning または Queer, Asexual の頭文字で、+をつけることでシスジェンダーのヘテロセクシュアル以外のあらゆる性的マイノリティを含む総称となる。呼称にはバリエーションがあるが、LGBT という呼び方が最もよく知られていて、1990年代には LGBT という言葉は北米や欧州において一般に知れ渡るようになった。
58. ソギ/ソジ(SOGI) 性自認 セクシュアリティ  
性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字をとった新語。国連で2006年頃から使われ始め、2016年6月30日の「性的指向と性自認を理由とする暴力と差別からの保護」に関する議決が賛成多数で可決されたことで、国際的にこの言葉が使用されるようになった。性的指向や性自認を理由としたハラメントを「SOGIハラ」と呼称するなど派生語も生まれている。
59. クィア(Queer) 性自認 ジェンダー表現 セクシュアリティ  
セクシュアルマイノリティの総称として使われることがある。本来は「奇妙な」「風変わりな」という意味で侮蔑的な意味合いが強かったが、1960年代以降、

同性愛者のコミュニティの形成や解放運動によって、肯定意識を持ってこの呼称を当事者が使用するようになっていった。

60. -フラックス(-flux) セクシュアリティ

性的指向や恋愛指向において、惹かれる対象や気持ちの強さが揺れ動くことを示す接尾辞。アブロセクシュアル/アブロロマンティックにも似ているが、-フラックスを使うことで、自分が惹かれる対象や程度をより具体的に示すことができる。エースフラックスはこのバリエーションのひとつ。

61. -スパイク(-spike) セクシュアリティ

性的指向や恋愛指向において、惹かれる対象や気持ちの強さが揺れ動くことを表す接尾辞。-フラックスと似ているが、-スパイクの場合は普段は対象に惹かれる気持ちがほとんどなく、突発的に気持ちを強く感じるという特徴がある。

62. -フレキシブル(-flexible) セクシュアリティ

性的あるいは感情的に惹かれる対象となるジェンダーに例外があることを示す接尾辞。たとえば、普段はヘテロセクシュアルだが、稀に同性に性的魅力を感じる場合はホモフレキシブルという表現を当てはめることが可能。

63. 美的魅力 (Aesthetic attraction) セクシュアリティ

セックスや恋愛の対象としてではなく、人を引きつける外観的な魅力。顔つきや体つきの他、髪型や服装などを含む。

64. 感覚的魅力(Sensual attraction) セクシュアリティ

触覚や嗅覚などに訴える魅力。

65. プラトニックな魅力 (Platonic attraction) セクシュアリティ

恋愛感情とは別に、精神的な強いつながりや親近感を求めたくなるような魅力。

66. オルタラスな魅力 (Alterous attraction) セクシュアリティ

恋愛感情ともプラトニックな魅力とも違う、説明しがたい特別な関係性を望むような魅力。オルタラスな魅力を感じる相手に、同時に恋愛感情や友情を感じると

いうこともありえる。

## 索引（日本語）

- アコイロマンティック, 51  
アジェンダー, 10  
アセクシュアル, 44, 46  
アブロセクシュアル, 42, 45, 60  
アプロマンティック, 51  
アブルロマンティック, 42, 45, 60  
アポラジェンダー, 8  
アロセクシュアル, 49  
アロフラックス, 50  
アロマンティック, 44, 46  
アロロマンティック, 49  
アンドロギュノス, 1  
アンドロジナス, 1, 22  
アンドロジナス・ジェンダー, 13, 22  
アンドロジニー, 1  
アンドロジン, 1, 13, 22, 38  
アンドロジンセクシュアル, 38  
アンドロジンロマンティック, 38  
アンドロセクシュアル, 36  
アンドロロマンティック, 36  
イクラセクシュアル, 54  
異性愛, 31  
異性装者, 20  
インタージェンダー, 12  
インターセックス, 1  
インターセクシュアル, 1  
ウーマセクシュアル, 37  
ウーマロマンティック, 37  
エースフラックス, 50, 60  
Xジェンダー, 12, 17  
オートセクシュアル, 53  
オートロマンティック, 53  
オムニジェンダー, 15  
オルタラスな魅力, 66  
ガイネセクシュアル, 37  
ガイネロマンティック, 37  
感覚的魅力, 64  
間性, 1  
クィア, 59  
クエスチョニング, 16, 18, 19  
グレーセクシュアル, 46, 47, 48  
グレーロマンティック, 46, 47, 48  
クロスドレッサー, 20  
クワセクシュアル, 44  
クワロマンティック, 44  
ゲイ, 32, 33  
ジェンダー, II  
ジェンダー・アイデンティティ, III  
ジェンダー・エクспанシブ, 23  
ジェンダークィア, 16  
ジェンダー・ダイバーズ, 23  
ジェンダー・ニュートラル, 12  
ジェンダー・ノンコンフォーミング, 23  
ジェンダー表現, IV  
ジェンダー・ヴァリエント, 23  
ジェンダーフラックス, 14, 15, 19  
ジェンダーフルイド, 14, 15, 18, 19  
ジェンダーレス, 10

シスジェンダー, 2  
社会的性別, II  
身体的性別, I  
スコリオセクシュアル, 41  
スコリオロマンティック, 41  
ストレート, 31  
-スパイク, 61  
性自認, III  
性的指向, V, 25, 26  
性同一性障害, 3  
性表現, IV  
性分化疾患, 1  
性別違和, 3  
セクシュアリティ, V  
セクシュアル・オリエンテーション, V,  
25, 26  
セックス, I  
ゼッドセクシュアル, 49  
ゼッドロマンティック, 49  
セテロセクシュアル, 41  
セテロロマンティック, 41  
ソギ/ソジ, 58  
第三のジェンダー, 16  
多重愛, 27, 28  
単数愛, 27, 28  
デミセクシュアル, 48  
デミロマンティック, 48  
同性愛, 32  
ドラァグ・キング, 21  
ドラァグ・クイーン, 21  
トライジェンダー, 14  
トライセクシュアル(tri-), 30  
トライセクシュアル(try-), 55  
トライロマンティック(tri-), 30  
トライロマンティック(try-), 55  
トランスヴェスタイト, 20  
トランスジェンダー, 3  
トランス女性, 5  
トランスセクシュアル, 4  
トランス男性, 5  
トランスフェミニン, 6  
トランスマスキュリン, 6  
ニュートロワ, 11  
ノウマセクシュアル, 40  
ノウマロマンティック, 40  
ノボセクシュアル, 42, 45  
ノボロマンティック, 42, 45  
ノンケ, 31  
ノンバイナリー, 7  
ノマセクシュアル, 39  
ノマロマンティック, 39  
ノンセクシュアル, 46  
ハーマフロダイト, 1  
バイセクシュアル, 35  
バイロマンティック, 35  
バイキュリアス, 56  
バイジェンダー, 14  
バイセクシュアル, 30, 35  
バイロマンティック, 30, 35  
半陰陽, 1  
半陰陽者, 1  
パンジェンダー, 15, 16, 18, 19

パンセクシュアル, 35, 43  
パンロマンティック, 35, 43  
非性愛, 46  
美的魅力, 63  
複数愛, 27, 28  
ふたなり, 1  
-フラックス, 60, 61  
プラトニックな魅力, 65  
-フレキシブル, 62  
ヘテロセクシュアル, 31  
ヘテロロマンティック, 31  
ヘルマフロディーチ, 1  
ヘルマプロディトス, 1  
ホモセクシュアル, 32  
ホモロマンティック, 32  
ポリアモリー, 27, 28  
ポリジェンダー, 14, 16, 18, 19  
ポリセクシュアル, 30, 35  
ポリロマンティック, 30, 35  
マーベリック, 9  
マセクシュアル, 36  
マロマンティック, 36  
マルチジェンダー, 14  
無性愛, 46  
モノアモリー, 27, 28  
モノセクシュアル, 29  
モノロマンティック, 29  
リスセクシュアル, 51  
リスロマンティック, 51  
両性愛, 35  
レシップセクシュアル, 52  
レシップロマンティック, 52  
レスビアン, 32, 34  
恋愛指向, V, 25, 26  
ロマンティック・オリエンテーション, V,  
25, 26

## 索引 (英語)

- Abroromantic, 39, 42, 60  
Abrosexual, 39, 42, 60  
Aceflux, 50, 60  
Aesthetic attraction, 66  
Agender, 10  
Akoioromantic, 51  
Alloromantic, 49  
Allosexual, 49  
Alterous attraction, 66  
Androgynous, 1, 22  
Androgynous Gender, 13, 22  
Androgyne, 1, 13, 22, 38  
Androgyneromantic, 38  
Androgynesexual, 38  
Androgyny, 1  
Androromantic, 36  
Androsexual, 36  
Aporagender, 8  
Aporomantic, 51  
Aroflux, 50  
Aromantic, 44, 46  
Asexual, 44, 46  
Autoromantic, 53  
Autosexual, 53  
Bicurious, 56  
Bigender, 14  
Bioromantic, 30, 35  
Bisexual, 30, 35  
Cisdenger, 2  
Crossdresser, 20  
Demiromantic, 48  
Demisexual, 48  
Disorders of Sex Development, 1  
Drag King, 21  
Drag Queen, 21  
DSD, 1  
Female to Male, 5  
-flux, 60, 61  
-flexible, 62  
FtM, 5  
FtX, 17  
Gay, 32, 33  
GD, 3  
Gender, II  
Gender expansive, 23  
Gender Expression, IV  
Gender diverse, 23  
Gender Dysphoria, 3  
Genderfluid, 14, 15, 18, 19  
Genderflux, 14, 15, 19  
Gender Identity, III  
Gender Identity Disorder, 3  
Genderless, 10  
Gender Neutral, 12  
Gender nonconforming, 23  
Genderqueer, 16  
Gender variant, 23  
GID, 3

Grayromantic, 46, 47, 48  
 Graysexual, 46, 47, 48  
 Gyneromantic, 37  
 Gynesexual, 37  
 Hermaphrodite, 1  
 Hermaphroditus, 1  
 Heteroromantic, 31  
 Heterosexual, 31  
 Homoromantic, 32  
 Homosexual, 32  
 Iculusexual, 54  
 Intergender, 12  
 Intersex, 1  
 Intersexual, 1  
 IS, 1  
 Lesbian, 32, 34  
 LGBTQIA+, 57  
 Lithromantic, 51  
 Lithsexual, 51  
 Male to Female, 5  
 Maromantic, 36  
 Masexual, 36  
 Maverique, 9  
 Monoamory, 27, 28  
 Monoromantic, 29  
 Monosexual, 29  
 MtF, 5  
 MtX, 17  
 Multigender, 14  
 Neutrois, 11  
 Nomaromantic, 39  
 Nomasexual, 39  
 Non-binary, 7  
 Nonsexual, 46  
 Novoromantic, 42, 45  
 Novosexual, 42, 45  
 Nowomaromantic, 40  
 Nowomasexual, 40  
 Omnigender, 15  
 Pangender, 15, 16, 18, 19  
 Panromantic, 35, 43  
 Pansexual, 35, 43  
 Platonic attraction, 65  
 Polyamory, 27, 28  
 Poliromantic, 30, 35  
 Polisexual, 30, 35  
 Poligender, 14, 16, 18, 19  
 Queer, 59  
 Questioning, 16, 18, 19  
 Quoiromantic, 44  
 Quoisexual, 44  
 Recipromantic, 52  
 Recipsexual, 52  
 Romantic Orientation, V, 25, 26  
 Sensual attraction, 64  
 Sex, I  
 Sexuality, V  
 Sexual Expression, IV  
 Sexual Orientation, V, 25, 26  
 SOGI, 58  
 -spike, 61  
 Straight, 31

Third Gender, 16

Transgender, 3

Trans man, 5

Transfeminine, 6

Transmuscurine, 6

Transsexual, 4

Transvestite, 20

Trans woman, 5

Trigender, 14

Triromantic, 30

Trisexual, 30

Tryromantic, 55

Trysexual, 55

Womaromantic, 37

Womasexual, 37

X Gender, 12, 17

Zedromantic, 49

Zedsexual, 49

## 付録：タイにおける 19 種類の性自認・性的指向を表す言葉

タイでは性自認や性的指向を表す言葉がある。多くの場合「タイにおける性別の数は 18 種類」とされてきたが、複数のソースを元に 19 種類の言葉を紹介する。また「性別」という呼称もこの資料で提供している情報に照らすと不正確であるため、上記の題名を採用する。

1. プーシャイ：異性愛者の男性。
2. プーイン：異性愛者の女性。
3. トム：男装をする女性、あるいはトランスジェンダーの男性。
4. レディーボーイ：女装をする男性、あるいはトランスジェンダーの女性。（レディーボーイを「オカマ」と称する情報も存在するが、日本において侮蔑的な意味合いが強いとして忌避される場合があるため、この資料ではレディーボーイと呼称する。）
5. ディー：男性的な女性やトムを恋愛対象とする女性。
6. ボート：両性愛者の男性。ただし、レディーボーイは恋愛対象に含まない。
7. レズビアン：同性愛者の女性。
8. ゲイクイーン：シスジェンダーで同性愛者、かつ相手との関係性において女性的な役割を演じる男性。
9. ゲイキング：シスジェンダーで同性愛者、かつ相手との関係性において男性的な役割を演じる男性。
10. トムゲイキング：トムを恋愛対象とする男性的なトム。
11. トムゲイクイーン：トムを恋愛対象とする女性的なトム。
12. トムゲイツーウェイ：トムゲイキングとトムゲイクイーンの両方になりうるトム。
13. アダム：トムを恋愛対象とする男性。
14. アンジー：トムを恋愛対象とするレディーボーイ。
15. チェリー：男性同性愛者とレディーボーイが好きな女性。
16. トムクイーン：トムを恋愛対象とする女性。
17. バイ：バイセクシュアル、トム、ディ、レズビアン、男性を恋愛対象とする女性。
18. トムゲイ：女性、トム、ディを恋愛対象とする女性。
19. サヤムーン：レズビアン、トム、女性を恋愛対象とし、またそのどれも自認できる女性。

## 参考文献

### 書籍

- イーディー, ジョー 編『セクシュアリティ基本用語事典』2004. 明石書店, 2006.
- 針間克己・平田俊明 編『セクシュアル・マイノリティへの心理的支援』岩崎学術出版社, 2014.
- ヒューゲル, ケリー『LGBTQ ってなに? セクシュアル・マイノリティのためのハンドブック』2003. 明石書店, 2011.
- マーデル, アシュリー『13歳から知っておきたいLGBT+』2016. ダイヤモンド社, 2017.

### ウェブサイト

- Nonbinary wiki [https://nonbinary.wiki/wiki/Main\\_Page](https://nonbinary.wiki/wiki/Main_Page)
- AVENwiki [http://wiki.asexuality.org/Main\\_Page](http://wiki.asexuality.org/Main_Page)
- セックスを拒絶する若者たち—アロマンティック・アセクシャル  
<https://wired.jp/2016/05/08/aromantic-asexual/>
- Alterous Attraction <https://ourqueerstories.com/alterous-attraction/>
- 平田宏利『“18の性別”が存在する国!?LGBT先進国の今(2015年3月8日) - エキサイトニュース』 [https://www.excite.co.jp/news/article/Tocana\\_201503\\_18\\_lgbt/](https://www.excite.co.jp/news/article/Tocana_201503_18_lgbt/)
- 「性はグラデーション」タイに注目 | E.o.S.u.S (2017年11月28日)  
<http://ostcdt.xsrv.jp/journaletudiants-mujctsm/2017/11/28/%E3%80%8C%E6%80%A7%E3%81%AF%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%80%8D%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%81%AB%E6%B3%A8%E7%9B%AE/>

### 授業用資料

- 瀬名波栄潤 編『2017年度用セックス・ジェンダー・セクシュアリティ関連授業資料(1001版) 多様「性」への歴史』

### 協力

- 北海道大学非公認サークル「虹の集い」  
NPO 法人北海道レインボーリソース L-Port 学生ステーション